



2019年3月期 第2四半期 決算説明会

2018年11月27日

北越コーポレーション株式会社



HOKUETSU
GROUP

■ 決算の概要

- ◆ 売上高は、カナダのパルプ事業、中国の白板紙事業が寄与し増収となった。
(海外売上高比率は37%)
- ◆ 営業利益は、パルプの販売価格上昇等による増益要因はあったものの、チップや燃料等のコストアップに加え、カナダの工場メンテナンス費用や中国における古紙高騰等の一時的要因により減益となった。

(単位：百万円)

	2018/3期 第2四半期	2019/3期 第2四半期	増 減	増 減 率
売 上 高	132,445	134,819	2,373	1.8%
営 業 利 益	4,562	1,937	▲ 2,624	▲ 57.5%
経 常 利 益	6,945	4,370	▲ 2,574	▲ 37.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	5,362	2,667	▲ 2,694	▲ 50.2%

2019年3月期 第2四半期 セグメント別(売上高・営業利益)実績



(単位:百万円)

	2018/3期 第2四半期		2019/3期 第2四半期		売上高		営業利益	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	増減	増減率	増減	増減率
紙パルプ事業	118,714	3,237	121,345	928	2,630	2.2%	▲ 2,308	▲ 71.3%
パッケージング・ 紙加工事業	10,110	569	9,755	391	▲ 354	▲ 3.5%	▲ 178	▲ 31.3%
その他	3,620	410	3,717	323	97	2.7%	▲ 86	▲ 21.1%
調整額	—	345	—	294	—	—	▲ 51	▲ 14.9%
合計	132,445	4,562	134,819	1,937	2,373	1.8%	▲ 2,624	▲ 57.5%

※ 売上高：外部顧客への売上高

2019年3月期 第2四半期 連結販売実績



	2018/3期 第2四半期			2019/3期 第2四半期			差異			前年同期差異	
	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額
	千トン	円/kg	百万円	千トン	円/kg	百万円	千トン	円/kg	百万円		
洋紙	661	98.30	64,956	653	98.78	64,499	▲ 8	0.49	▲ 456	▲ 1.2%	▲ 0.7%
板紙	262	86.11	22,575	267	89.39	23,853	5	3.27	1,277	1.8%	5.7%
紙計	923	94.84	87,531	920	96.06	88,352	▲ 3	1.22	821	▲ 0.3%	0.9%
パルプ	366	60.92	22,301	326	73.50	23,958	▲ 40	12.58	1,656	▲ 11.0%	7.4%
その他			8,882			9,035			153		1.7%
紙パルプ事業 合 計			118,714			121,345			2,630		2.2%
パッケージング・ 紙加工事業			10,110			9,755			▲ 354		▲ 3.5%
その他			3,620			3,717			97		2.7%
合 計			132,445			134,819			2,373		1.8%

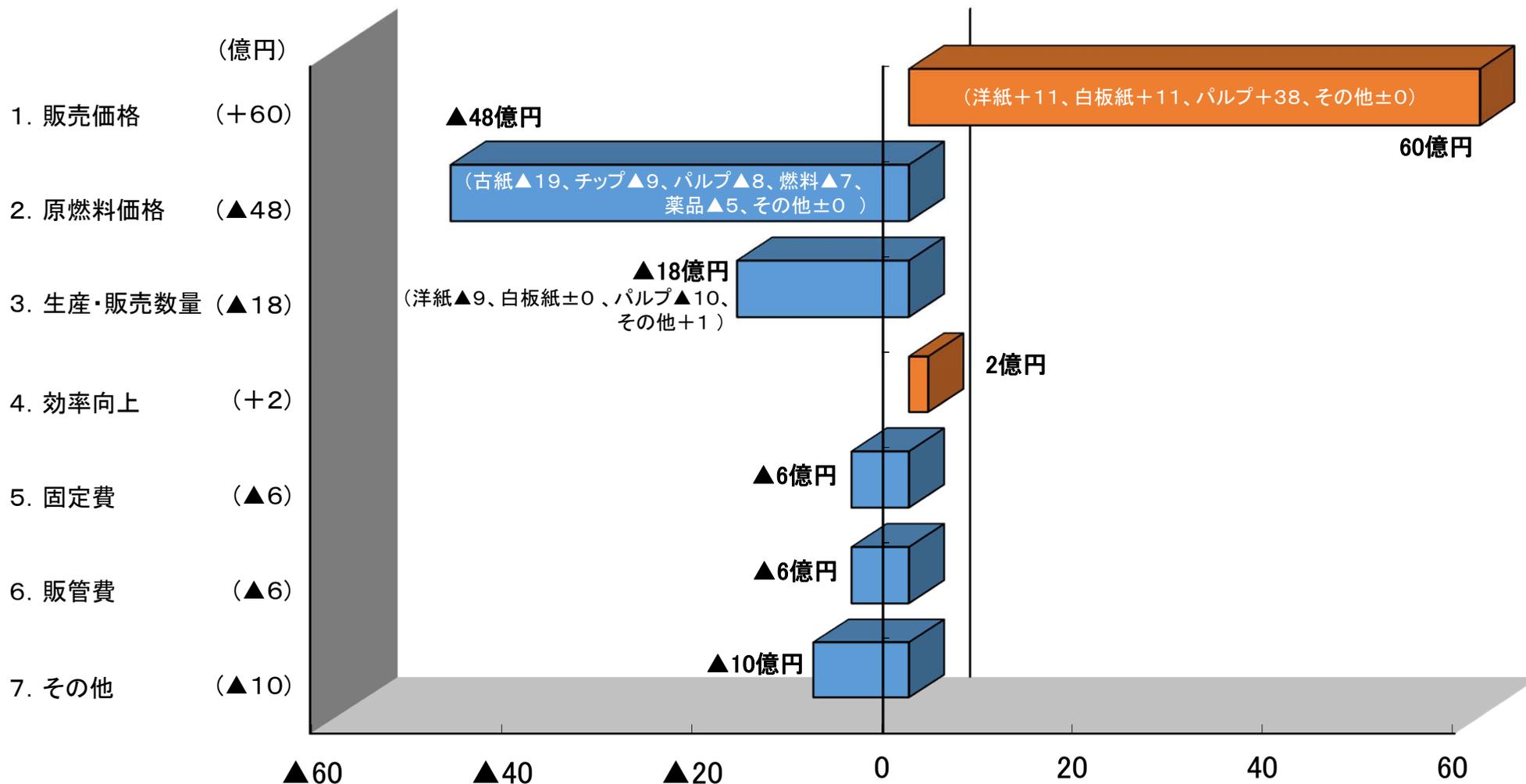
連結営業利益 対前年増減要因



【2018年3月期 第2四半期45億円 ⇒ 2019年3月期 第2四半期19億円 差異 ▲26億円】

マイナス要因(▲88億円)

プラス要因(+62億円)



2018年3月期 第2四半期
為替: 111円/\$
ドバイ原油: \$51/bbl

2019年3月期 第2四半期
為替: 111円/\$
ドバイ原油: \$70/bbl

連結貸借対照表



(単位:億円)

	18/3期	18/9期	増減	備考
現預金	143	134	▲ 9	
受取手形・電子記録債権・売掛金	751	701	▲ 50	受取手形▲5億、電子記録債権3億、売掛金▲48億
たな卸資産	492	499	7	
その他流動資産	60	53	▲ 7	
有形・無形固定資産	1,431	1,413	▲ 18	設備投資93億、減価償却▲91億、他
投資その他の資産	788	850	62	投資有価証券65億、他
資産合計	3,664	3,649	▲ 15	

支払手形・電子記録債務・買掛金	290	282	▲ 8	
有利子負債	1,082	1,038	▲ 45	短借▲37億、CP▲110億、長借102億
その他負債	373	406	33	設備関係未払金20億、他
負債合計	1,745	1,726	▲ 19	
純資産合計	1,920	1,923	4	

※ 当期からの【税効果会計に係る会計基準の一部改正】適用に伴い、当該会計基準等を遡って適用した後の数値です。

■ 業績予想の概要

- ◆ 2019年1月より印刷・情報用紙の価格改定を実施する。
- ◆ 価格重視戦略により、国内洋紙販売数量は減少するものの、輸出により一定数量をカバーする。
- ◆ 各種原燃料や物流コストは前年比上昇を見込む。
- ◆ 堅調なパルプ市況により、国内海外ともに順調なパルプ販売を見込む。

(単位：百万円)

	2018/3期 実績	2019/3期 予想	増 減	増 減 率
売 上 高	269,099	275,000	5,900	2.2%
営 業 利 益	11,414	10,000	▲ 1,414	▲ 12.4%
経 常 利 益	13,907	13,000	▲ 907	▲ 6.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	10,327	8,500	▲ 1,827	▲ 17.7%

2019年3月期 セグメント別(売上高・営業利益)予想



(単位:百万円)

	2018/3期		2019/3期		売上高		営業利益	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	増減	増減率	増減	増減率
紙パルプ事業	242,082	8,808	247,000	8,000	4,917	2.0%	▲ 808	▲ 9.2%
パッケージング・紙加工事業	19,428	1,128	19,500	1,000	71	0.4%	▲ 128	▲ 11.4%
その他	7,589	815	8,500	400	910	12.0%	▲ 415	▲ 51.0%
調整額	—	661	—	600	—	—	▲ 61	▲ 9.3%
合計	269,099	11,414	275,000	10,000	5,900	2.2%	▲ 1,414	▲ 12.4%

※ 売上高：外部顧客への売上高

2019年3月期 連結販売見込み



	2018/3期			2019/3期			差異			前年同期差異	
	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額
	千トン	円/kg	百万円	千トン	円/kg	百万円	千トン	円/kg	百万円		
洋紙	1,331	98.75	131,403	1,321	101.44	133,999	▲ 10	2.69	2,595	▲ 0.7%	2.0%
板紙	544	86.30	46,941	512	90.80	46,447	▲ 32	4.49	▲ 494	▲ 5.9%	▲ 1.1%
紙計	1,875	95.14	178,344	1,833	98.47	180,446	▲ 42	3.33	2,101	▲ 2.2%	1.2%
パルプ	707	65.51	46,303	679	75.94	51,529	▲ 28	10.43	5,225	▲ 4.0%	11.3%
その他			17,435			15,025			▲ 2,410		▲ 13.8%
紙パルプ事業合			242,082			247,000			4,917		2.0%
パッケージング・紙加工事業			19,428			19,500			71		0.4%
その他			7,589			8,500			910		12.0%
合計			269,099			275,000			5,900		2.2%

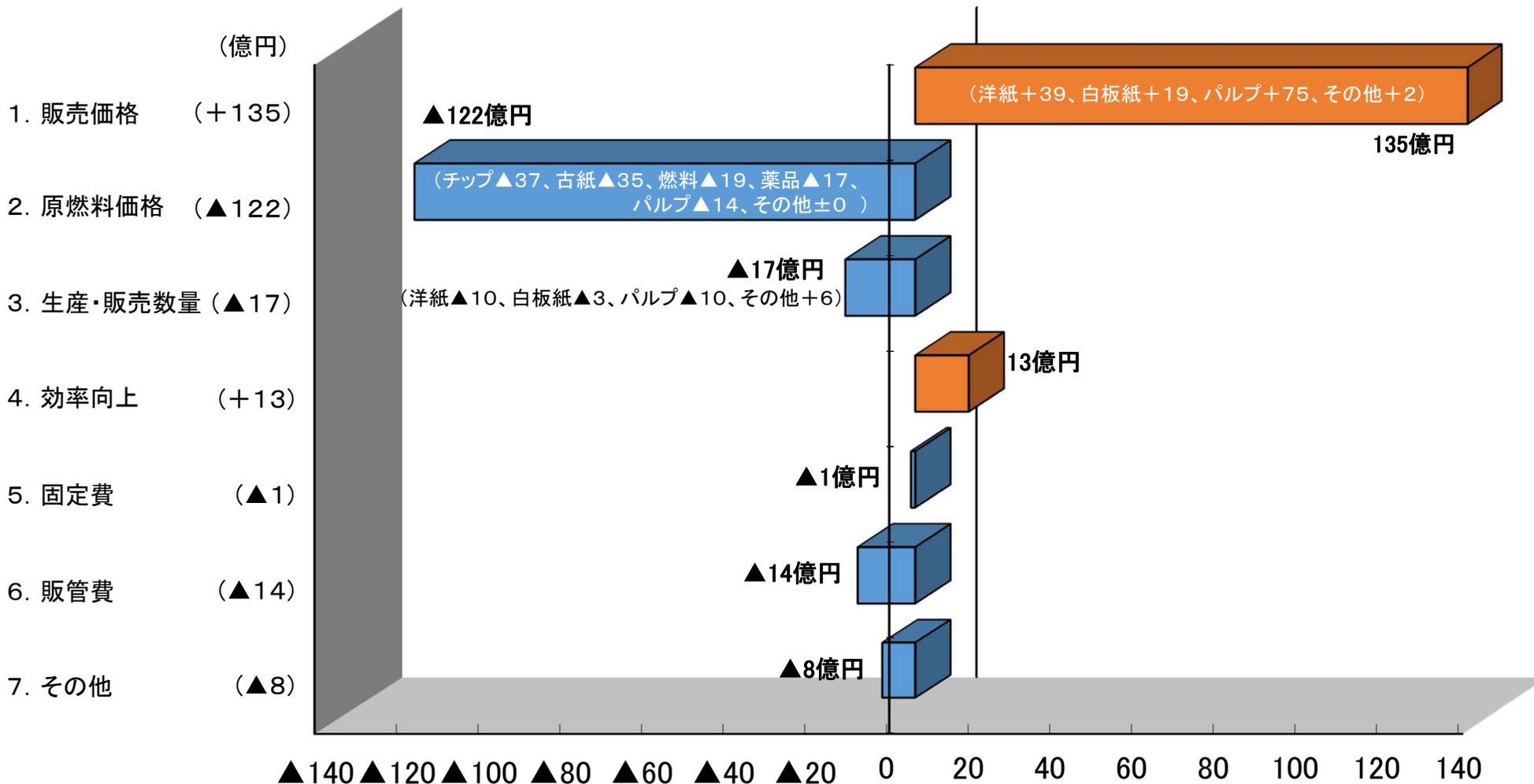
2019年3月期予想 連結営業利益 対前年増減要因



【2018年3月期 114億円 ⇒ 2019年3月期 100億円 差異 ▲14億円】

マイナス要因(▲162億円)

プラス要因(+148億円)



2018年3月期
為替: 111円/\$
ドバイ原油: \$55/bbl

2019年3月期
為替: 112円/\$
ドバイ原油: \$72/bbl

設備投資

	今年度 投資予定額
北越コーポレーション（塗工紙競争力強化工事 他）	99億円
北越パッケージ（グラビア印刷機設置 他）	16億円
アルパック（原木クレーン更新工事 他）	32億円
北越マテリアル（酒田チップ工場設立 他）	6億円
その他子会社	10億円
今年度設備投資予定総額	163億円

中国における感熱紙事業の展開



工場外観図



合併会社の概要

名称	Zhejiang Yue Hong New Materials Co.,Ltd. (浙江越宏新材料有限公司)	
所在地	中国浙江省長興県開発区	
資本金	10,800千USドル	
株主構成	北越コーポレーション株式会社	73.2%
	上海敦普貿易中心有限合伙	24.3%
主な事業内容	感熱紙の製造及び販売	

生産工場の概要

工場敷地面積	13,000㎡
生産能力	600百万㎡/年
主要設備	コーター2台・R/W3台



①新チップ船「スノーカメリア」就航

- 載貨重量60,360t、船倉容積4,300,000立方フィートの国内最大級の大型チップ船
- エコシップ型で、従来のチップ船に比べ15%の低燃費を実現

②コンテナ増強によるモーダルシフトの推進

- 45基の20フィートコンテナを自社で製作・保有
- 関西方面への輸送では、CO₂排出量が、トラック輸送と比べて約9割削減となる

プラスチックなどの環境負荷の大きい他素材で作られた製品を、環境に優しい紙素材へ

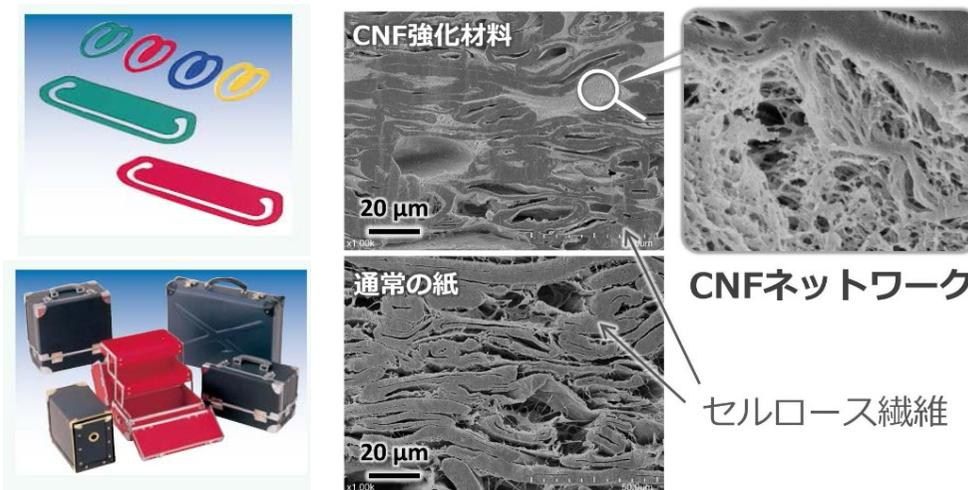


紙製マドラー、スプーン、フォーク等

- 当社の原紙を加工し、十分な耐水性と強度を持たせ、既に実用化

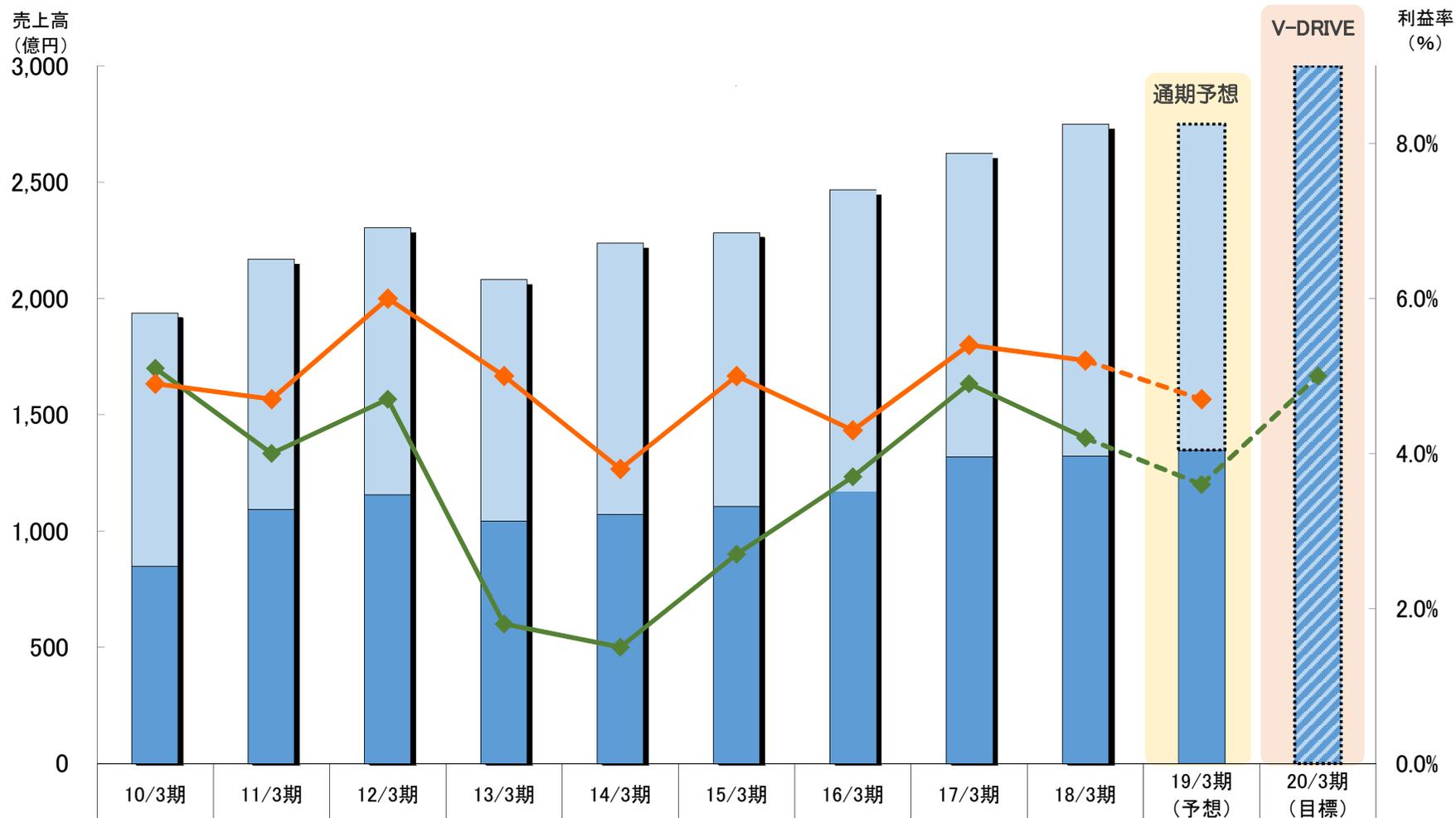
CNF強化材料である バルカナイズドファイバー製品群

- ファイバーの質感・強靭性を生かした各種ケース、クリップ等



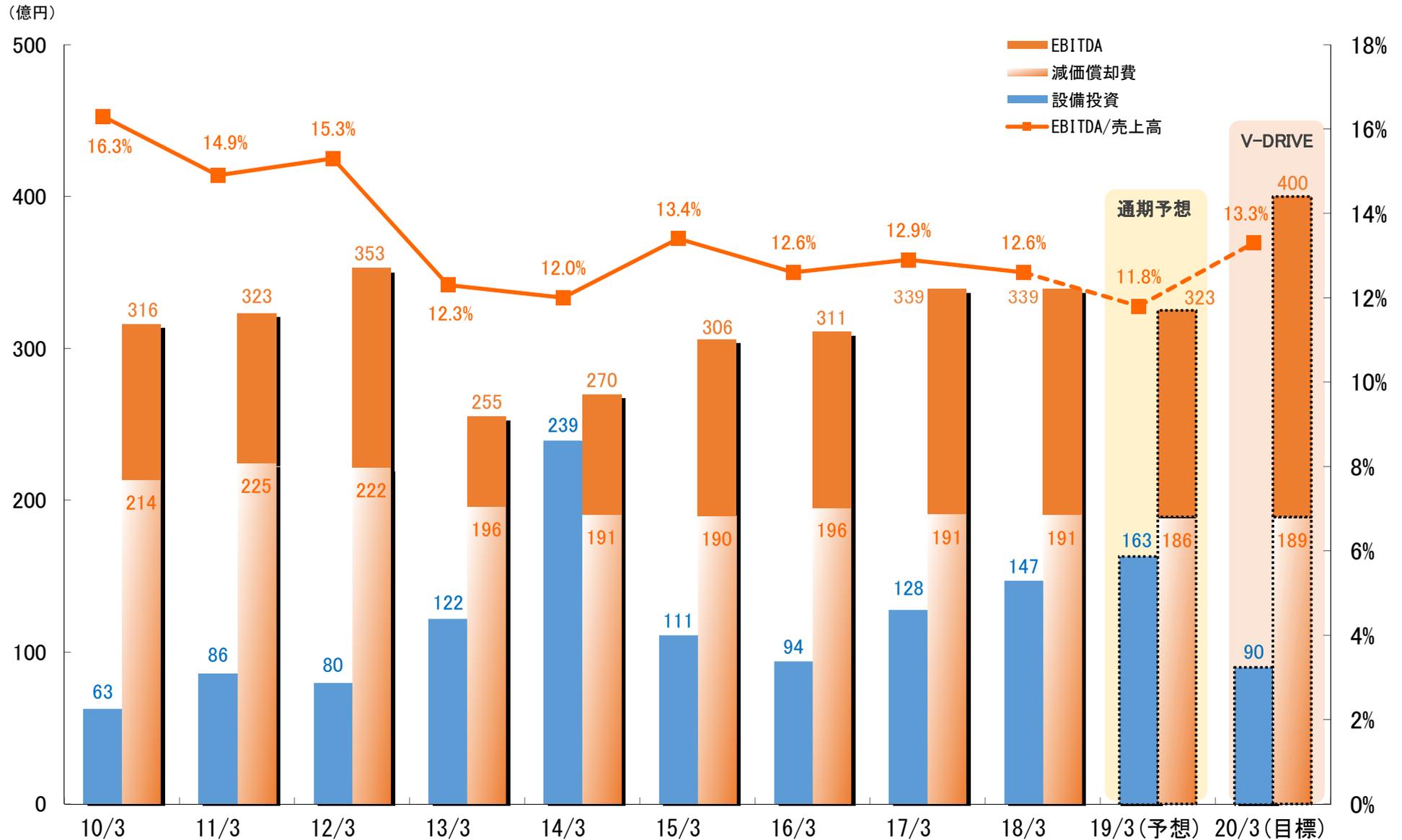
脱プラスチックに対応した新規パッケージ素材とパッケージ製品の開発を積極的に推進

連結業績(売上高・利益率)の推移



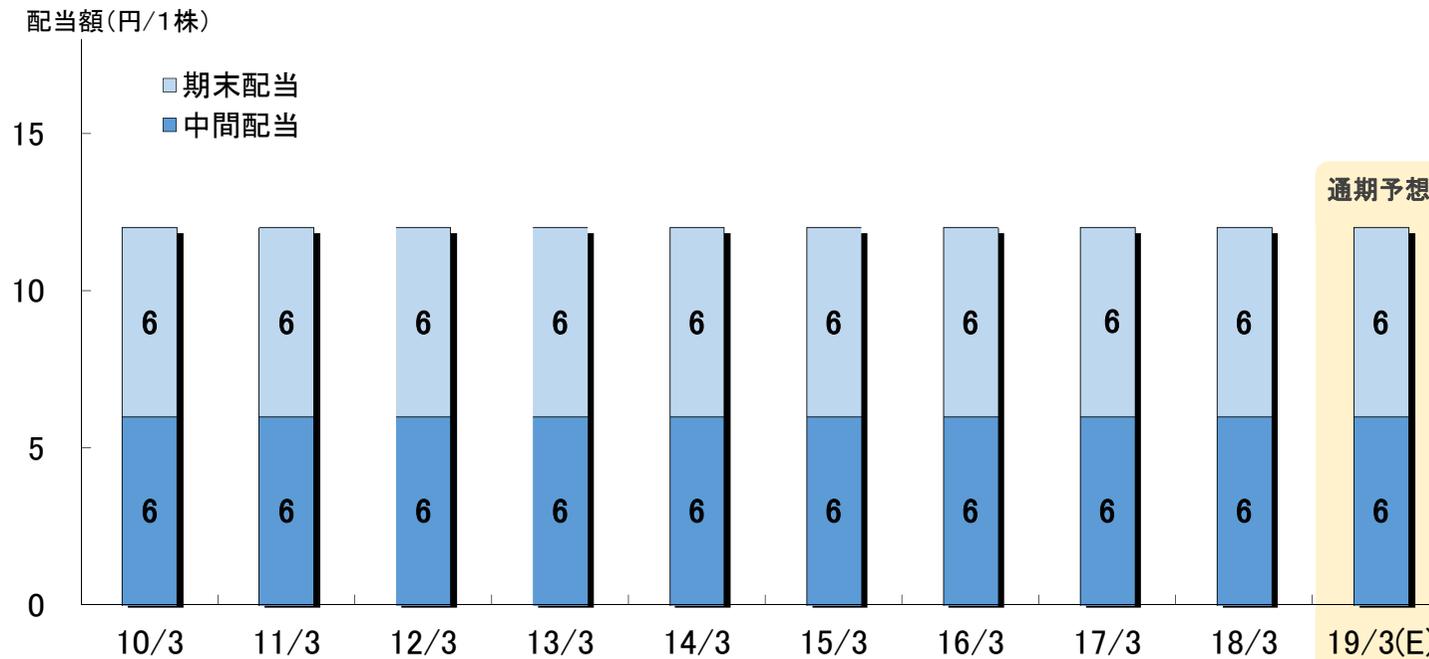
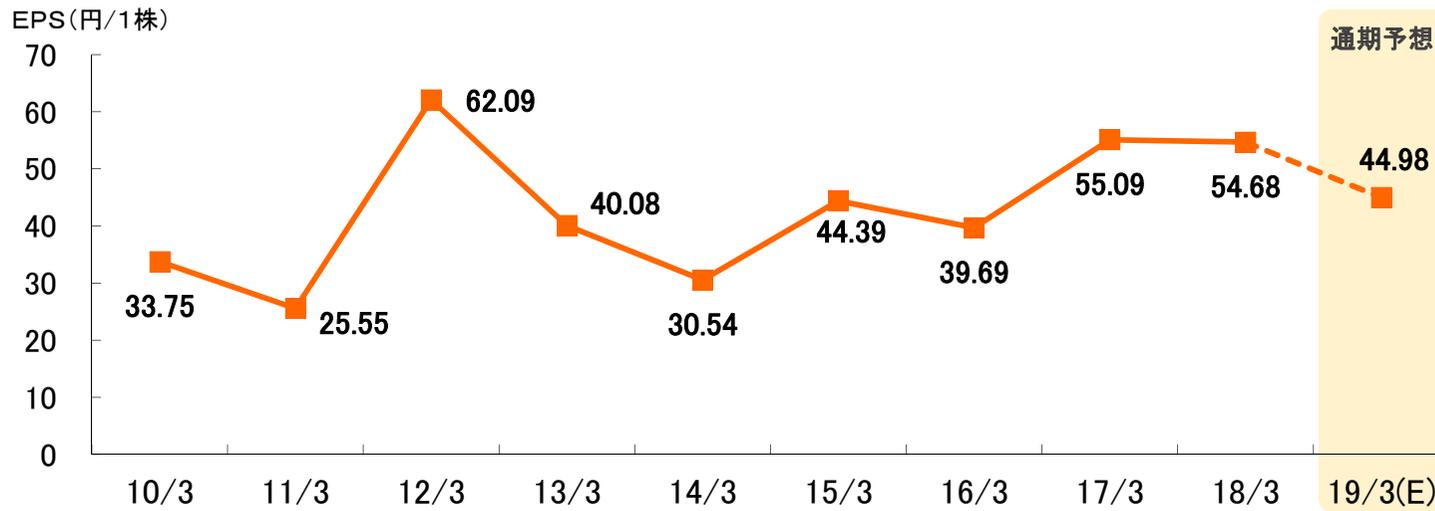
	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期 (予想)	20/3期 (目標)
売上高(下期)	1,088	1,072	1,147	1,035	1,163	1,174	1,295	1,301	1,426	1,402	3,000
売上高(上期)	851	1,098	1,159	1,048	1,076	1,110	1,173	1,323	1,324	1,348	3,000
営業利益率(通期)	5.1%	4.0%	4.7%	1.8%	1.5%	2.7%	3.7%	4.9%	4.2%	3.6%	5.0%
経常利益率(通期)	4.9%	4.7%	6.0%	5.0%	3.8%	5.0%	4.3%	5.4%	5.2%	4.7%	—

設備投資・EBITDAの推移



EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費-負ののれん償却費

利益配当の推移



連結主要指標の推移



(単位：百万円)

	2010年度 (11/3期)	2011年度 (12/3期)	2012年度 (13/3期)	2013年度 (14/3期)	2014年度 (15/3期)	2015年度 (16/3期)	2016年度 (17/3期)	2017年度 (18/3期)	2018年度 通期予想	2018年度 上期実績
売上高	217,013	230,569	208,280	223,864	228,400	246,849	262,398	269,099	275,000	134,819
営業利益 (営業利益率)	8,742 (4.0%)	10,823 (4.7%)	3,657 (1.8%)	3,307 (1.5%)	6,139 (2.7%)	9,236 (3.7%)	12,900 (4.9%)	11,414 (4.2%)	10,000 (3.6%)	1,937 (1.4%)
経常利益 (経常利益率)	10,148 (4.7%)	13,780 (6.0%)	10,516 (5.0%)	8,480 (3.8%)	11,462 (5.0%)	10,587 (4.3%)	14,055 (5.4%)	13,907 (5.2%)	13,000 (4.7%)	4,370 (3.2%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,296	12,673	8,169	6,105	8,359	7,476	10,380	10,327	8,500	2,667
EPS (円)	25.55	62.09	40.08	30.54	44.39	39.69	55.09	54.68	44.98	14.12
ROE	3.9%	8.9%	5.4%	3.9%	5.2%	4.5%	6.0%	5.6%	4.4%	—
ROA (経常利益)	3.1%	4.2%	3.1%	2.4%	3.3%	3.0%	3.9%	3.8%	3.5%	—
ネットD/Eレシオ	0.80倍	0.63倍	0.64倍	0.74倍	0.65倍	0.66倍	0.54倍	0.49倍	0.49倍	0.47倍
有利子負債	121,156	117,144	129,137	136,387	123,724	129,585	116,753	108,240	110,000	103,751
減価償却費	22,496	22,177	19,624	19,070	19,006	19,552	19,093	19,065	18,600	9,119
EBITDA	32,336	35,281	25,537	26,972	30,581	31,122	33,936	33,868	32,300	13,962

EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費-負ののれん償却費

本資料に掲載されている見通し等に関する内容は、決算説明会時点における各種の前提に基づいたものであり、その実現性を保証するものではありません。
また今後の種々の要因により、将来の目標値や施策が異なっていく場合があります。

本資料のお問い合わせ先

北越コーポレーション株式会社 経営戦略室
03-3245-4874